

神樹の会会報

No. 50
平成12年5月20日

発行所：神樹の会
発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

垂水作業支援センター ☎782-9675
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3



前回のアンケート結果
にあらわれているように、会員
の皆様のたいなる期待を担った療護
施設の建設が、今、現実のものになる
ことを願って、総会に向けて歩み始めました。
実現までにはいろいろな点で困難がある
と予想され、ますます皆様のご協力
が必要となって参ります。
共にごんばりましょう。

障害のある方の実態とそのニーズを把握し、今後の会の方向づけの参考とするために、障害のある方のみを対象に平成五年と十一年の2回、アンケートによる実態調査を行った。その中で療護施設建設や、ショートステイ、二十四時間一時保護等のサービスを望む声が多数寄せられていた。これは本会の重点目標として長年にわたり掲げられてきたものである。

平成十一年八月より毎月一回のペースで開かれていた特別委員会が、これからの神樹の会の進む方向について話し合われてきた。いろいろ協議の結果、これらの希望が叶う療護施設建設に向かって一歩踏み出して行けるようになってきている。これについては、平成十二年の総会で諮られる予定であり、会員の皆様の意見を広く聞かせていただくことになっている。

こんなのがあればいい…
どのような施設がこれから必要とされているのかを編集委員会が探ってみた。
*冠婚葬祭時だけでなく、ほかの理由でも安心してお願いできる二十四時間一時保護の事業が併設されている施設。
*介護者の病気の時やまたリフレッシュのためにショートステイの併設。
*送迎をしてくれる毎日型デイサービス事業の併設。

「新時代の到来を……」

神戸市ではじめて重症心身障害児施設が「あわせ」の村内に建設されること発表になった。重度重複障害児者が多くなり、また重度障害者を介護する親も高齢になり、家庭内介護が限界になりつつあることから考えると、長らく待たれていたことであり大変喜ばしいことである。また、神戸市の後期計画に療護施設一か所の建設が含まれている。一か所はもうすでに決定済みであり、とりかかっている。神戸市内ではないが、加古川市内にも今春療護施設が開設された。身体障害児者にとって新福祉時代の到来といった感がある。

四月より介護保険が施行されたが、四、五年先には若年障害者も対象となってくる。そうなれば卒業後の生活も、本人の選択によって、要介護度の程度にしたがってサービスを受けることになっていく。

神樹の会のこれからも、これらを視野に入れて考えていかねばならない。地域で普通に生活をする障害者を支援するのが本会の役割であることから考えると、その核となる療護施設の建設が待たれるのである。

神樹の会会長 宮脇 テル子

各所より

たおじ作業所

三年目を迎えました。今年度から親の介助をなくし、指導員の先生、ボランティアさんと楽しく毎日を送っています。トールペインティングの色塗り、ミシンでの小物作り、また販売にも挑戦しようとしています。

ゆめの作業所

少しずつ地域の皆様に理解していただき、さをり織りの製品も作り、湊川の丸神市場にも協力をいただいております。また、リフト付ワゴンを購入し、利用生の送迎等に大いに使っていきます。

明芳デイサービス

この5月で9周年を迎え、今年度は日々の活動を月～金の午後4時までとし、また毎月第2・4週は、皆同じお弁当を宅配してもらおうなど、新しい試みを取り入れ事業を進めています。

せまいながらも楽しい事業所!!
モザイク壁画の私たち事業所に立ち寄り歓迎、おみやげ付ならなお歓迎!!

「智也の成長を願って……」

岩崎 美津子

智也が垂水養護学校に入学して一ヶ月が過ぎました。入学して間もない頃は、今まで通ってきた小学校とまったく違う学校の様子と、先生の多さに少々とまどいをかくせないようでしたが、最近やっと「学校が楽しい」という言葉が出るようになり、こちらの学校をすすめた私としては、ほっとしているところです。

車いすで五分の小学校への通学にかわって、今度は一時間バスにゆられての登校となりました。家の隣に中学校があるにもかかわらず養護学校を選んだのも、自立する力を身につけて欲しいとの思いからだったのですが、バスでの登校もその第一歩となって欲しいものです。

今までは周りから何かといたわられる立場でしたが、これからは出来ることを伸ばして、他の人のためにも何かお手伝いもできるようになってくれればと思います。これから六年間、いろいろな方々の力を借りて、智也も成長していくことでしょう。

(垂水養護学校中学部一年母親)

総会

日時：平成12年6月11日(日)
午後1時30分～

場所：神戸市勤労会館
3階 308号室

審議事項：平成11年度事業報告
平成12年度予算
他

K Tongae

このように夢は大きい。本会が発足してから三十年近くになり、かつては若さと美貌を誇っていた母親たちも年齢を重ねていり、そして障害者だけでなくお年寄りの介護もなくなってはならない状態になっていく。子供の身体は大きく重くなり、親の体力は低下するという状況の中、話ができない「私でない」と世間は手元で…と無理をしている場合がある。

障害者自身も介護をする人も、心にゆとりをもって生活していけるような環境がほしいものである。

今春の人事異動により、田中等友生養護学校長が転任され、新しく岡田孝久校長が赴任されました。また、友生・垂水両養護学校で計四十四名の教職員の方々が退職・転任されました。両校の平成十一年度卒業生十七名は元気に新しい道へ歩みだしました。

「お世話になりました」 前友生養護学校長 田中 等
 この度の異動により湊川中学校へ転任となりました。友生養護学校在職中は、宮協会長をはじめ、神樹の会の皆様には大変お世話になりました。友生で過ごした3年間は私にとって大変貴重な体験の日々でした。
 朝、登校してくる子どもたちが見せてくれたすばらしい笑顔は、私を元気づけてくれました。また、子どもたちの「できる」ことを大切にした教育、小さな変容も見逃さない観察力の重要さなど、障害児教育を通して教育の原点を再認識させられました。21世紀に向けて、社会も学校も大きく変わろうとしています。
 神樹の会におかれましても「不易と流行」を大事にします。まず発展されることを祈念しております。



▲友生養護学校高等部卒業生のみなさん

友生養護学校

- 《転出》
 田中等 湊川中学校
 難波 徹子 青陽東養護学校
 吉田 雅文 垂水養護学校
 永江 敦子 鷹取中学校
 東條 美紀 御影中学校
 材井 敬子 鶴甲小学校
 立石 節子 垂水養護学校
 南 和人 垂水養護学校
 道下 浩樹 垂水養護学校
 土居 永津子 垂水養護学校
 田尻 淑子 西宮養護学校
 坊山 晴美 道場小学校
- 《退職》
 宇谷 裕子
 高橋 真美佳
 杉田 あい
 坂元 春生
 池田 和恵
 瀬島 美智子

垂水養護学校

- 《転出》
 宮谷 忠雄 福池小学校
 中村 頼子 伊川谷幼稚園
 森島 辰造 青陽東養護学校
 吉田 絹代 友生養護学校
 塩浜 園江 青陽東養護学校
 中谷 利美 青陽高等養護学校
 安富 顕 伊川谷中学校
 馬場 真由美 友生養護学校
 吉田 三枝子 青陽西養護学校
 中野 克 青陽高等養護学校
 鈴木 千恵子 青陽高等養護学校
 本條 誠 青陽高等養護学校
 井手 由紀子 青陽高等養護学校
 江島 陽子 長坂中学校

- 《退職》
 名村 勝江 明親小学校
 植原 茂 青陽西養護学校
 森本 隆彦 青陽東養護学校
 黒田 崇 友生養護学校
 飯塚 章好 友生養護学校
- 外 久美子
 平山 敦子
 藤本 修一
 坂元 春生
 平尾 一幸
 中村 悦子
 日高 真紀
 松本 悦子 (敬称略)

計報

平成十一年十二月から十二年四月までに次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

- 廣川英三様
 平成八年五月より、ワークホーム明友の施設長として、授産施設とデイサービスのためにご尽力いただきました。
- 木下吉次郎様 (昭和四十二年卒)
 木下吉郎さんの父親 (昭和四十一年度)
- 武縄憲一様 (昭和四十一年度)
- 下村友哉様 (昭和五十九年度卒)
 友生養護学校卒 (昭和五十九年度)
- 安井良一様 (平成五年度)
- 奥村和彦様 (昭和五十一年度)
- 飯塚静子様 (昭和四十七年度卒)
 飯塚博子さんの母親 (昭和五十二年卒)
- 谷 庄衛様 (昭和五十二年卒)
- 岸田進悟様 (平成九年度)



▲垂水養護学校高等部卒業生のみなさん

感謝

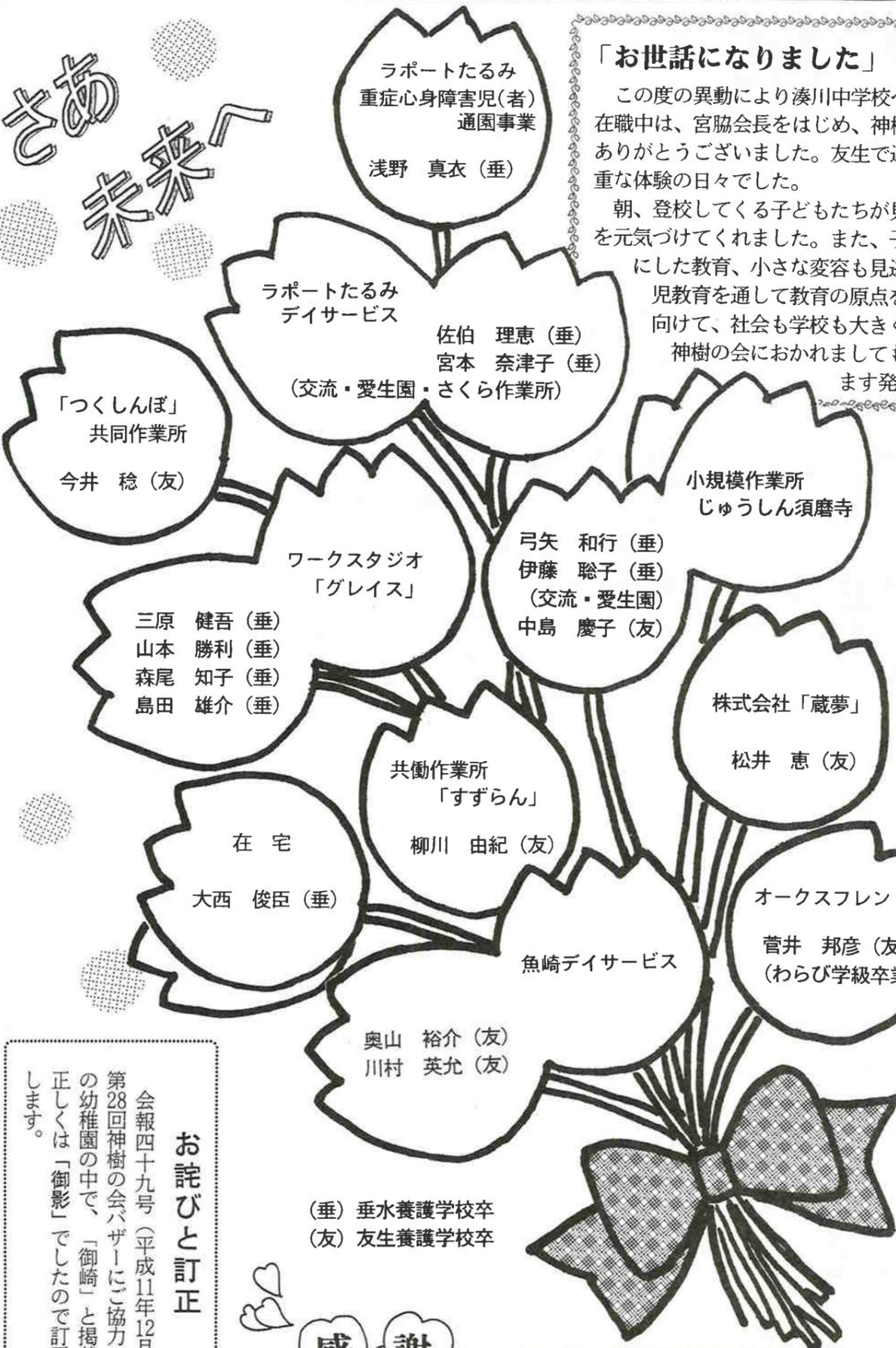
平成11年12月から12年4月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。

- ・東郷賢治様
- ・ミウラギャラリー様
- ・武縄喜代一様

お詫びと訂正

会報四十九号 (平成11年12月20日発行) 別紙第28回神樹の会バザーにご協力いただいた方々の幼稚園の中で、「御崎」と掲載いたしました。正しくは「御影」でしたので訂正してお詫びいたします。

とあ 未来へ



(垂) 垂水養護学校卒
 (友) 友生養護学校卒

あしき

新緑がまぶしい季節となりました。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。会報五十号をお届けします。ご執筆下さった方々に心よりお礼申し上げます。

阡陌 福田 林 山下 日高
 矢野 小野 大住 山内 宮脇